

土木学会 コンクリート委員会

第3回 コンクリートの非破壊評価技術の信頼性向上に関する研究小委員会

(339 委員会) 議事録

日時 : 平成20年1月31日(水) 15:00~17:00
場所 : 土木学会2階 E・F会議室
出席者 : (敬称略, 順不同): 鎌田委員長, 岩波幹事長, 大島幹事(記録), 塩谷幹事, 吉沢幹事, 渡辺幹事(徳島大), 壹岐(秋山委員代理), 石崎, 稲熊, 岩城, 岩野, 内田(慎), 内田(昌), 大津, 菊地, 北川, 鈴木, 武田, 則竹, 藤原, 溝淵, 森, 森濱, 湯山, 渡辺(東工大)の各委員, 渡海(オブザーバ)(以上26名)

配布資料:

- 3-0 議事次第
- 3-1 第2回委員会議事録(案)
- 3-2 渡海雅信氏博士論文要旨
- 3-3 WG2の方向性に関する素案
- 3-4 NDTCE'09のお知らせ

議事:

1. 開会の挨拶(鎌田)
 - ・ 非破壊評価方法の信頼性向上のために, WG1は内側(専門家)へ向けて, WG2は外側(一般)に向けて情報発信したい。
2. 前回議事録(案)の確認(渡辺(徳島大)): 配付資料3-1
 - ・ 前回議事録(案)が説明され, 異議なく承認された。
3. 話題提供(渡海氏): 配付資料3-2
 - ・ 「コンクリート中のひび割れ欠陥の画像化同定のためのSIBIE法の実用化に関する研究」と題して話題提供があった。本研究では, ひび割れ深さの評価に対してSIBIE法の適用を行っており, 超音波法と対比させながらSIBIE法の評価を行っている。また, Scanning SIBIE法を提案し, 従来法での問題点を解決している。
4. WG1からの報告・審議(塩谷)
 - ・ WG1第一回会議により, 以下の事項が確認された:
 - ー メンバーが少ないので積極的に参加して欲しい。
 - ー コンクリート構造物を対象に, 弾性波を扱う。特に超音波に特化する。
 - ー 非破壊評価法の信頼性向上と実用化に向けて, 現状の標準・規格が有する問題点を抽出する。
 - ー 評価対象を切り口として, 問題点の整理を行う。
 - ー 対象は専門家とし, 標準化そのものではなく, ガイドラインの枠組み作りをする。
 - ー 二期を想定し, 一期では問題抽出, 二期では具体化をする。
 - ・ 本委員会は一期完了という確認があったのでは(岩波)→今回の委員会は枠組み作りを目標としたいという主旨。→結果的に二期となることはよいが, 基本的に一期完了を目指す(岩波)
 - ・ 最終成果のイメージを確認したい。非破壊評価法の信頼性を向上させるために, 標準化に必要なことは何か, 問題点の抽出と整理をして欲しい。また, 今後の標準・規格作り参考となるよう

な内容のものがよい（鎌田）

- ・ 規格化での問題点は何か（鎌田）→対象者によって問題点は変わる。また特化する手法として、超音波法よりも衝撃弾性波法の方がよいのではないか（森濱）
- ・ 問題点の抽出に関して、専門家によって意見が異なるものもあるのでは（渡辺（徳島大））→そこまで拘らない（塩谷）
- ・ 例えば原理的には理解しているが、間違っただけでやり方で実施してしまい、測定結果の信頼性が低下している場合もある（鎌田）

5. WG2 からの報告・審議（渡辺（徳島大））：配付資料 3-3

- ・ 教育プログラムの方向性について議論した：
 - － 対象は発注者をイメージし、不信感の原因を分析した。
 - － なぜ非破壊評価法を利用すると良いのか、非破壊を使う意義などを示す。
 - － 失敗例などのケーススタディを通じて、実際の利用現場で起きる問題点を示す。
- ・ そもそも手法を実施する側でも、人によって非破壊に対する評価が異なっている。アンケートを実施して、非破壊に対するイメージを明確にするのもよい（鎌田）
- ・ 対象は「発注者」ということでよいのか（塩谷）→発注者・初級をイメージしている（渡辺（徳島大））。
- ・ 「発注者」という区分は不適切では（岩波）→コンサルタントから調査会社に発注する場合には、コンサルタントも「発注者」になる。非破壊を使おうとする者という意味での発注者（吉沢）
- ・ 信頼性向上という意味からすると、信頼性とは不信感の裏返しであるため、ある程度非破壊を利用している人間が対象となるのでは（稲熊）
- ・ 機材もありマニュアル通りやっているが、うまくいかないことがある。そこを補うものが欲しい（森）

6. その他

- ・ NDTCE'09 募集のお知らせ（大津）（配布資料 3-4）：2009 年フランスにて開催されるので、積極的な応募をお願いしたい。
- ・ 委員会 HP について：内田（慎）委員より HP 用の掲載項目を知らせるので、情報を返信してほしい。
- ・ 委員の退任：岩城委員が転職のため委員を退任することとなり、挨拶があった。
- ・ 公聴会のお知らせ：内田（慎）委員、渡海氏の公聴会開催のお知らせがあった。
- ・ 委員の追加：話題提供者の渡海氏が次回より委員として参加することが提案され、承認された。

次回の予定

日 時：平成 20 年 4 月 15 日（火）

14:00～15:00 各 WG による作業

15:00～17:00 全体委員会

場 所：ルポール麴町会議室（予定）

次回までの宿題

各 WG における議論を具体化し、活動内容、スケジュール、成果物のイメージなどを含めた資料を準備する。

以 上